

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・エマーシング高金利債券 マザーファンドの受益証券
	ダイワ・エマーシング 高金利債券 マザーファンド	海外の債券
マザーファンドの 運用方法	<p>①主として、エマーシング諸国の現地通貨建債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケットズ ブロードの構成国を参考に投資対象通貨を選定します。</p> <p>ロ. 通貨の地域配分にあたっては、欧州・中東・アフリカ地域、アジア地域、中南米地域の3地域へ均等とすることをめざします。</p> <p>ハ. 各地域ごとに3通貨を選定して均等に配分することをめざします。通貨の選定にあたっては、各国の金利水準、経済ファンダメンタルズ、流動性等から判断し、年2回以上見直しを行ないます。なお流動性、市場状況等によっては通貨数が異なる場合があります。</p> <p>ニ. 投資する債券は、各国の政府、政府関係機関および国際機関等が発行するものとし、取得時においてBB格相当以上（ムーディーズでB a 3以上またはS & PでBB-以上）とします。</p> <p>ホ. ポートフォリオの修正デュレーションは1（年）程度から3（年）程度の範囲とします。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドの マザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの 株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、基準価額の水準等によっては、上記にかかわらず今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮したうえで分配をすることがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。</p>	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ成長国 セレクト債券ファンド （毎月決算型）^{ナイン} （愛称：セレクト9）

運用報告書（全体版）

第67期	（決算日	2015年8月17日）
第68期	（決算日	2015年9月15日）
第69期	（決算日	2015年10月15日）
第70期	（決算日	2015年11月16日）
第71期	（決算日	2015年12月15日）
第72期	（決算日	2016年1月15日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ成長国セレクト債券ファンド（毎月決算型）（愛称：セレクト9）」は、このたび、第72期の決算を行ないました。

ここに、第67期～第72期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
43期末(2013年8月15日)	8,192	80	△ 2.6	13,259	△ 2.8	95.6	90,677
44期末(2013年9月17日)	8,106	80	△ 0.1	13,390	1.0	95.1	89,233
45期末(2013年10月15日)	8,116	80	1.1	13,606	1.6	96.7	89,350
46期末(2013年11月15日)	8,003	80	△ 0.4	13,525	△ 0.6	97.2	88,077
47期末(2013年12月16日)	8,094	80	2.1	13,900	2.8	97.0	88,443
48期末(2014年1月15日)	7,926	80	△ 1.1	13,847	△ 0.4	96.8	86,128
49期末(2014年2月17日)	7,573	80	△ 3.4	13,303	△ 3.9	97.3	83,224
50期末(2014年3月17日)	7,511	80	0.2	13,360	0.4	95.0	82,531
51期末(2014年4月15日)	7,697	80	3.5	13,951	4.4	96.3	84,564
52期末(2014年5月15日)	7,776	80	2.1	14,258	2.2	96.4	86,466
53期末(2014年6月16日)	7,711	80	0.2	14,315	0.4	96.0	87,105
54期末(2014年7月15日)	7,684	80	0.7	14,426	0.8	96.8	88,486
55期末(2014年8月15日)	7,592	80	△ 0.2	14,395	△ 0.2	96.7	88,636
56期末(2014年9月16日)	7,666	80	2.0	14,634	1.7	94.5	90,129
57期末(2014年10月15日)	7,489	80	△ 1.3	14,523	△ 0.8	96.6	88,645
58期末(2014年11月17日)	7,948	80	7.2	15,457	6.4	97.6	91,820
59期末(2014年12月15日)	7,726	80	△ 1.8	14,977	△ 3.1	97.1	87,143
60期末(2015年1月15日)	7,640	80	△ 0.1	14,900	△ 0.5	96.2	86,364
61期末(2015年2月16日)	7,455	80	△ 1.4	14,855	△ 0.3	96.5	84,172
62期末(2015年3月16日)	7,044	80	△ 4.4	14,198	△ 4.4	95.8	79,480
63期末(2015年4月15日)	7,078	80	1.6	14,723	3.7	95.5	77,845
64期末(2015年5月15日)	7,127	80	1.8	14,886	1.1	95.6	76,877
65期末(2015年6月15日)	7,032	80	△ 0.2	14,751	△ 0.9	95.6	74,034
66期末(2015年7月15日)	6,949	65	△ 0.3	14,783	0.2	96.0	71,070
67期末(2015年8月17日)	6,562	65	△ 4.6	14,136	△ 4.4	94.4	62,960
68期末(2015年9月15日)	6,053	65	△ 6.8	13,022	△ 7.9	94.4	55,620
69期末(2015年10月15日)	6,119	65	2.2	13,420	3.1	94.7	54,852
70期末(2015年11月16日)	6,051	65	△ 0.0	13,460	0.3	95.6	52,785
71期末(2015年12月15日)	5,748	65	△ 3.9	12,791	△ 5.0	95.8	48,818
72期末(2016年1月15日)	5,493	65	△ 3.3	12,399	△ 3.1	96.0	45,655

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

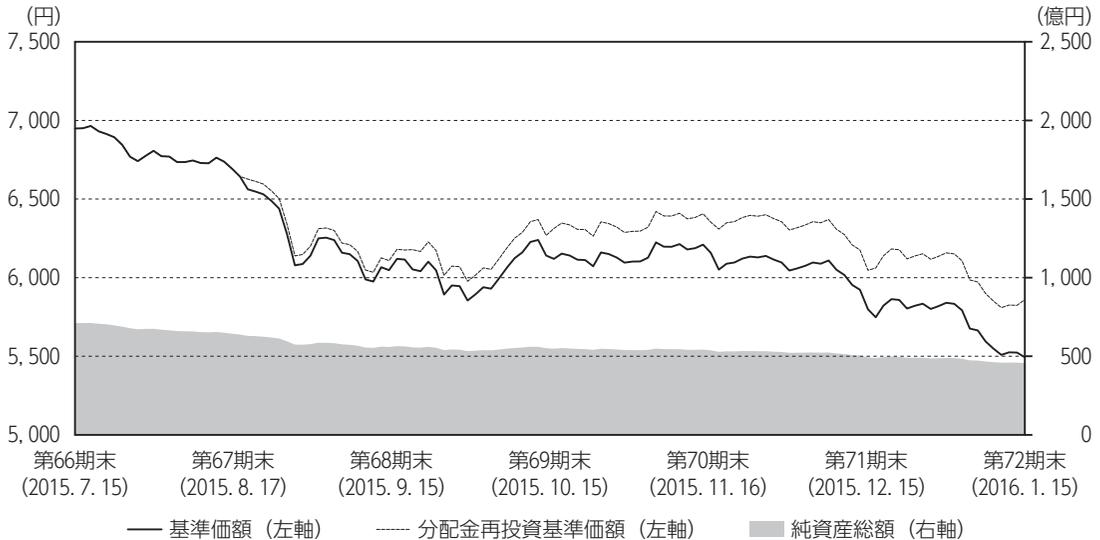
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第67期首：6,949円

第72期末：5,493円（既払分配金390円）

騰落率：△15.7%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

主として「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を通じて、新興国の債券に投資した結果、投資している債券の値下がりや通貨が円に対して下落したことが、基準価額の下落要因となりました。一方、債券の利息収入は安定的に基準価額の上昇要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ成長国セレクト債券ファンド（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 入 率 公 組 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	
第67期	(期首) 2015年7月15日	6,949	—	14,783	—	96.0
	7月末	6,773	△ 2.5	14,372	△ 2.8	95.5
	(期末) 2015年8月17日	6,627	△ 4.6	14,136	△ 4.4	94.4
第68期	(期首) 2015年8月17日	6,562	—	14,136	—	94.4
	8月末	6,254	△ 4.7	13,416	△ 5.1	93.6
	(期末) 2015年9月15日	6,118	△ 6.8	13,022	△ 7.9	94.4
第69期	(期首) 2015年9月15日	6,053	—	13,022	—	94.4
	9月末	5,893	△ 2.6	12,690	△ 2.5	93.2
	(期末) 2015年10月15日	6,184	2.2	13,420	3.1	94.7
第70期	(期首) 2015年10月15日	6,119	—	13,420	—	94.7
	10月末	6,103	△ 0.3	13,429	0.1	95.0
	(期末) 2015年11月16日	6,116	△ 0.0	13,460	0.3	95.6
第71期	(期首) 2015年11月16日	6,051	—	13,460	—	95.6
	11月末	6,045	△ 0.1	13,522	0.5	95.9
	(期末) 2015年12月15日	5,813	△ 3.9	12,791	△ 5.0	95.8
第72期	(期首) 2015年12月15日	5,748	—	12,791	—	95.8
	12月末	5,833	1.5	13,013	1.7	96.5
	(期末) 2016年1月15日	5,558	△ 3.3	12,399	△ 3.1	96.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○債券市況

米国の金融政策の正常化への思惑や中国経済の減速懸念といった外部要因に加えて、各国の政治・財政状況の影響を受けて金利は上昇する国が多くなりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、政治的不透明感や地政学リスクの高まりが嫌気され金利は上昇しました。南アフリカでは、2015年12月に行なわれた突然の財務大臣交代が市場の不信感を招き、金利は上昇しました。ポーランドでは、C P I（消費者物価指数）が前年比マイナス圏での推移が続いていることから金利は低下しました。

・アジア地域

インドネシアでは、市場心理の悪化や通貨安の影響を受けて金利は上昇しました。マレーシアでは、政策金利の据え置きが続いていることから金利は横ばいでの推移となりました。インドでは、中央銀行が2015年9月の金融政策決定会合で市場予想を上回る政策金利の引き下げを行ない金利は低下しました。

・中南米地域

ブラジルでは、政府が進める財政再建の進ちょくの遅れが懸念され金利は上昇しました。メキシコでは、C P Iが前年比で低下基調が続いたことが好感されて金利は低下しました。コロンビアでは、C P Iの上昇を受けて政策金利の引き上げが行なわれたことから金利は上昇しました。

○為替相場

中国経済の減速懸念を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、対円で下落する通貨が多くなりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは、政治的不透明感の高まりや中央銀行の金融政策への不信感が嫌気されて対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、格付会社によるネガティブなアクションや財務大臣交代に伴う混乱が嫌気されて対円で下落しました。ポーランド・ズロチは、E C B（欧州中央銀行）による追加金融緩和への期待で経済的に結びつきの強いユーロが下落した影響を受けて対円で下落しました。

・アジア地域

原油をはじめとする商品の価格下落の影響を受けて、インドネシア・ルピアおよびマレーシア・リングgitは対円で下落しました。市場心理の悪化の影響からインド・ルピーは対円で下落しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、財政悪化懸念や格下げが行なわれたことから対円で下落しました。メキシコ・ペソおよびコロンビア・ペソは、主要輸出品目である原油の価格下落や海外市場心理の悪化に影響されて対円で下落しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

ポートフォリオについて

○当ファンド

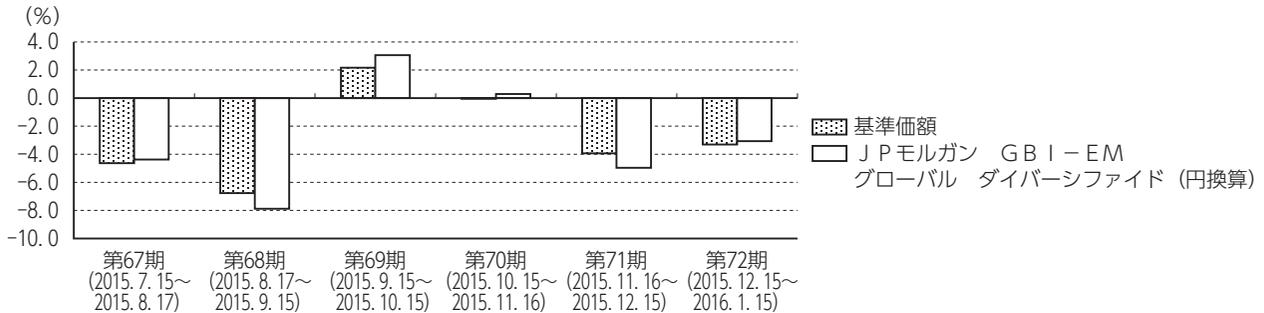
当作成期間を通じて「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

○ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域においては、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ポーランド・ズロチ、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リングgit、インド・ルピー、中南米地域ではブラジル・レアル、コロンビア・ペソ、メキシコ・ペソへ投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1.6（年）～2.2（年）程度としました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債と国際機関債からなるポートフォリオ構成としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第67期から第72期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ65円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
	2015年7月16日 ～2015年8月17日	2015年8月18日 ～2015年9月15日	2015年9月16日 ～2015年10月15日	2015年10月16日 ～2015年11月16日	2015年11月17日 ～2015年12月15日	2015年12月16日 ～2016年1月15日
当期分配金（税込み）（円）	65	65	65	65	65	65
対基準価額比率（%）	0.98	1.06	1.05	1.06	1.12	1.17
当期の収益（円）	39	31	37	33	29	30
当期の収益以外（円）	25	33	27	31	35	34
翌期繰越分配対象額（円）	824	790	763	731	696	661

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
(a) 経費控除後の配当等収益	39.27円	31.40円	37.54円	33.17円	29.75円	30.14円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	850.18	824.55	791.02	763.64	731.88	696.77
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	889.46	855.95	828.57	796.81	761.64	726.91
(f) 分配金	65.00	65.00	65.00	65.00	65.00	65.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	824.46	790.95	763.57	731.81	696.64	661.91

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは約1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

1万口当りの費用の明細

項 目	第67期～第72期		項 目 の 概 要
	(2015. 7. 16～2016. 1. 15)		
	金 額	比 率	
信託報酬	45円	0.730%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,154円です。
(投信会社)	(18)	(0.300)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(25)	(0.409)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	4	0.059	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.053)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.004)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	49	0.789	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ成長国セレクト債券ファンド（毎月決算型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年7月16日から2016年1月15日まで)

決算期	第67期～第72期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・エマージング 高金利債券 マザーファンド	—	—	12,466,549	16,015,000

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第67期～第72期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第72期末		
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・エマージング 高金利債券マザーファンド	51,001,711	38,535,162	45,560,122

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年8月17日)、(2015年9月15日)、(2015年10月15日)、(2015年11月16日)、(2015年12月15日)、(2016年1月15日)現在

項目	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末	第72期末
(A) 資産	63,821,181,584円	56,502,240,636円	55,613,759,451円	53,504,838,870円	49,533,844,471円	46,353,410,624円
コール・ローン等	185,638,026	329,019,610	352,236,952	546,526,869	238,205,411	583,288,331
ダイワ・エマージング高金利債券 マザーファンド（評価額）	62,875,543,558	55,573,221,026	54,811,522,499	52,908,312,001	48,795,639,060	45,560,122,293
未収入金	760,000,000	600,000,000	450,000,000	50,000,000	500,000,000	210,000,000
(B) 負債	860,599,044	881,840,624	761,237,044	719,710,648	714,992,835	698,090,561
未払収益分配金	623,689,163	597,291,048	582,642,358	567,023,878	552,062,230	540,267,543
未払解約金	148,707,561	217,307,542	112,923,287	83,164,433	102,117,567	97,743,005
未払信託報酬	88,015,143	66,897,552	65,154,321	68,815,261	59,935,918	59,024,425
その他未払費用	187,177	344,482	517,078	707,076	877,120	1,055,588
(C) 純資産総額（A－B）	62,960,582,540	55,620,400,012	54,852,522,407	52,785,128,222	48,818,851,636	45,655,320,063
元本	95,952,178,932	91,890,930,570	89,637,285,892	87,234,442,881	84,932,650,773	83,118,083,639
次期繰越損益金	△32,991,596,392	△36,270,530,558	△34,784,763,485	△34,449,314,659	△36,113,799,137	△37,462,763,576
(D) 受益権総口数	95,952,178,932□	91,890,930,570□	89,637,285,892□	87,234,442,881□	84,932,650,773□	83,118,083,639□
1万口当り基準価額（C/D）	6,562円	6,053円	6,119円	6,051円	5,748円	5,493円

* 第66期末における元本額は102,270,940,514円、当作成期間（第67期～第72期）中における追加設定元本額は2,382,629,666円、同解約元本額は21,535,486,541円です。

* 第72期末の計算口数当りの純資産額は5,493円です。

* 第72期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は37,462,763,576円です。

■投資信託財産の構成

2016年1月15日現在

項目	第72期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ・エマージング高金利債券 マザーファンド	45,560,122	98.3
コール・ローン等、その他	793,288	1.7
投資信託財産総額	46,353,410	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=118.16円、1トルコ・リラ=39.08円、1メキシコ・ペソ=6.61円、100コロンビア・ペソ=3.66円、1インド・ルピー=1.77円、100インドネシア・ルピア=0.86円、1ブラジル・レアル=29.53円、1マレーシア・リンギット=27.00円、1南アフリカ・ランド=7.18円、1ポーランド・ズロチ=29.21円です。

(注3) ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンドにおいて、第72期末における外貨建純資産（49,346,598千円）の投資信託財産総額（50,390,662千円）に対する比率は、97.9%です。

■損益の状況

第67期 自 2015年7月16日 至 2015年8月17日 第69期 自 2015年9月16日 至 2015年10月15日 第71期 自 2015年11月17日 至 2015年12月15日
 第68期 自 2015年8月18日 至 2015年9月15日 第70期 自 2015年10月16日 至 2015年11月16日 第72期 自 2015年12月16日 至 2016年1月15日

項 目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
(A) 配当等収益	7,623円	10,176円	6,906円	7,140円	6,418円	7,569円
受取利息	7,623	10,176	6,906	7,140	6,418	7,569
(B) 有価証券売買損益	△ 3,003,632,368	△ 4,000,505,177	1,245,009,970	38,431,044	△ 1,961,825,577	△ 1,519,659,712
売買益	91,325,133	138,468,551	1,269,080,850	49,582,101	13,475,875	20,856,753
売買損	△ 3,094,957,501	△ 4,138,973,728	△ 24,070,880	△ 11,151,057	△ 1,975,301,452	△ 1,540,516,465
(C) 信託報酬等	△ 88,202,320	△ 67,054,857	△ 65,326,917	△ 69,005,259	△ 60,105,962	△ 59,202,893
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 3,091,827,065	△ 4,067,549,858	1,179,689,959	△ 30,567,075	△ 2,021,925,121	△ 1,578,855,036
(E) 前期繰越損益金	△ 9,161,880,309	△ 12,039,813,855	△ 15,939,412,797	△ 14,642,939,835	△ 14,508,263,654	△ 16,313,399,094
(F) 追加信託差損益金	△ 20,114,199,855	△ 19,565,875,797	△ 19,442,398,289	△ 19,208,783,871	△ 19,031,548,132	△ 19,030,241,903
(配当等相当額)	(8,157,740,314)	(7,576,907,160)	(7,090,532,956)	(6,661,578,295)	(6,216,131,267)	(5,791,449,802)
(売買損益相当額)	(△ 28,271,940,169)	(△ 27,142,782,957)	(△ 26,532,931,245)	(△ 25,870,362,166)	(△ 25,247,679,399)	(△ 24,821,691,705)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 32,367,907,229	△ 35,673,239,510	△ 34,202,121,127	△ 33,882,290,781	△ 35,561,736,907	△ 36,922,496,033
(H) 収益分配金	△ 623,689,163	△ 597,291,048	△ 582,642,358	△ 567,023,878	△ 552,062,230	△ 540,267,543
次期繰越損益金 (G + H)	△ 32,991,596,392	△ 36,270,530,558	△ 34,784,763,485	△ 34,449,314,659	△ 36,113,799,137	△ 37,462,763,576
追加信託差損益金	△ 20,361,037,916	△ 19,874,606,861	△ 19,688,463,268	△ 19,486,431,956	△ 19,330,874,653	△ 19,319,943,555
(配当等相当額)	(7,910,902,253)	(7,268,176,096)	(6,844,467,977)	(6,383,930,210)	(5,916,804,746)	(5,501,748,150)
(売買損益相当額)	(△ 28,271,940,169)	(△ 27,142,782,957)	(△ 26,532,931,245)	(△ 25,870,362,166)	(△ 25,247,679,399)	(△ 24,821,691,705)
繰越損益金	△ 12,630,558,476	△ 16,395,923,697	△ 15,096,300,217	△ 14,962,882,703	△ 16,782,924,484	△ 18,142,820,021

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
(a) 経費控除後の配当等収益	376,851,102円	288,559,984円	336,577,379円	289,375,793円	252,735,709円	250,565,891円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	8,157,740,314	7,576,907,160	7,090,532,956	6,661,578,295	6,216,131,267	5,791,449,802
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	8,534,591,416	7,865,467,144	7,427,110,335	6,950,954,088	6,468,866,976	6,042,015,693
(f) 分配金	623,689,163	597,291,048	582,642,358	567,023,878	552,062,230	540,267,543
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	7,910,902,253	7,268,176,096	6,844,467,977	6,383,930,210	5,916,804,746	5,501,748,150
(h) 受益権総口数	95,952,178,932口	91,890,930,570口	89,637,285,892口	87,234,442,881口	84,932,650,773口	83,118,083,639口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
	65円	65円	65円	65円	65円	65円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

運用報告書 第16期 (決算日 2016年1月15日)

(計算期間 2015年7月16日～2016年1月15日)

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンドの第16期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運用方法	<p>①主として、エマージング諸国の現地通貨建債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケットズ ブロードの構成国を参考に投資対象通貨を選定します。</p> <p>ロ. 通貨の地域配分にあたっては、欧州・中東・アフリカ地域、アジア地域、中南米地域の3地域へ均等とすることをめざします。</p> <p>ハ. 各地域ごとに3通貨を選定して均等に配分することをめざします。通貨の選定にあたっては、各国の金利水準、経済ファンダメンタルズ、流動性等から判断し、年2回以上見直しを行ないます。なお流動性、市場状況等によっては通貨数が異なる場合があります。</p> <p>ニ. 投資する債券は、各国の政府、政府関係機関および国際機関等が発行するものとし、取得時においてBB格相当以上（ムーディーズでBa3以上またはS&PでBB-以上）とします。</p> <p>ホ. ポートフォリオの修正デュレーションは1（年）程度から3（年）程度の範囲とします。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

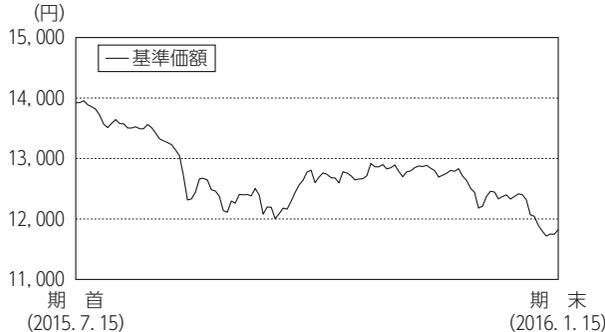
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



【運用経過】

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,922円 期末：11,823円 騰落率：△15.1%

【基準価額の主な変動要因】

新興国の債券に投資した結果、投資している債券の値下がりや通貨が円に対して下落したことが、基準価額の下落要因となりました。一方、債券の利息収入は安定的に基準価額の上昇要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○債券市況

米国の金融政策の正常化への思惑や中国経済の減速懸念といった外部要因に加えて、各国の政治・財政状況の影響を受けて金利は上昇する国が多くなりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、政治的不透明感や地政学リスクの高まりが嫌気され金利は上昇しました。南アフリカでは、2015年12月に行なわれた突然の財務大臣交代が市場の不信感を招き、金利は上昇しました。ポーランドでは、CPI（消費者物価指数）が前年比マイナス圏での推移が続いていることから金利は低下しました。

・アジア地域

インドネシアでは、市場心理の悪化や通貨安の影響を受けて金利は上昇しました。マレーシアでは、政策金利の据え置きが続いていることから金利は横ばいでの推移となりました。インドでは、中央銀行が2015年9月の金融政策決定会合で市場予想を上回る政策金利の引き下げを行ない金利は低下しました。

・中南米地域

ブラジルでは、政府が進める財政再建の進捗よきの遅れが懸念され金利は上昇しました。メキシコでは、CPIが前年比で低下基調が続いたことが好感されて金利は低下しました。コロンビアでは、CPIの上昇を受けて政策金利の引き上げが行なわれたことから金利は上昇しました。

○為替相場

中国経済の減速懸念を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、対円で下落する通貨が多くなりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リリアは、政治的不透明感の高まりや中央銀行の金融政策への不信感が嫌気されて対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、格付会社によるネガティブなアクションや財務大臣交代に伴う混乱が嫌気されて対円で下落しました。ポーランド・ズロチは、ECB（欧州中央銀行）による追加金融緩和への期待で経済的に結びつきの強いユーロが下落した影響を受けて対円で下落しました。

・アジア地域

原油をはじめとする商品の価格下落の影響を受けて、インドネシア・ルピアおよびマレーシア・リンギットは対円で下落しました。市場心理の悪化の影響からインド・ルピーは対円で下落しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、財政悪化懸念や格下げが行なわれたことから対円で下落しました。メキシコ・ペソおよびコロンビア・ペソは、主要輸出品目である原油の価格下落や海外市場心理の悪化に影響されて対円で下落しました。

年 月 日	基準価額		J Pモルガン GBI-EM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組 入 比 率
	騰落率	(参考指数)	騰落率		
	円	%		%	%
(期首) 2015年 7月15日	13,922	—	15,109	—	96.1
7月末	13,578	△ 2.5	14,689	△ 2.8	95.6
8月末	12,673	△ 9.0	13,712	△ 9.2	93.8
9月末	12,085	△ 13.2	12,970	△ 14.2	93.3
10月末	12,665	△ 9.0	13,725	△ 9.2	95.0
11月末	12,693	△ 8.8	13,821	△ 8.5	95.9
12月末	12,401	△ 10.9	13,300	△ 12.0	96.6
(期末) 2016年 1月15日	11,823	△ 15.1	12,673	△ 16.1	96.2

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J Pモルガン GBI-EMグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

◆前期における「今後の運用方針」

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは1(年)程度～3(年)程度でコントロールします。

◆ポートフォリオについて

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域においては、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ポーランド・ズロチ、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リングgit、インド・ルピー、中南米地域ではブラジル・リアル、コロンビア・ペソ、メキシコ・ペソへ投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1.6(年)～2.2(年)程度としました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債と国際機関債からなるポートフォリオ構成としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額」と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは約1(年)程度～3(年)程度でコントロールします。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2015年7月16日から2016年1月15日まで)

		買付額	売付額
		千トルコ・リラ 29,853	千トルコ・リラ 72,198
トルコ	国債証券		()
	特殊債券	7,468	() 7,500
メキシコ	国債証券	千メキシコ・ペソ 694,939	千メキシコ・ペソ 899,960 () 30,000
	国債証券	千コロンビア・ペソ 121,683,420	千コロンビア・ペソ 67,470,563 () 70,400,000
インド	国債証券	千インド・ルピー —	千インド・ルピー 1,187,145 ()
インドネシア	国債証券	千インドネシア・ルピア 14,700,000	千インドネシア・ルピア 175,582,100 ()
	特殊債券	276,067,682	333,596,895 () 20,000,000
ブラジル	国債証券	千ブラジル・リアル 90,080	千ブラジル・リアル 127,397 ()
マレーシア	国債証券	千マレーシア・リングgit 29,522	千マレーシア・リングgit 64,200 () 17,000
南アフリカ	国債証券	千南アフリカ・ランド 208,312	千南アフリカ・ランド 207,922 () 76,000
ポーランド	国債証券	千ポーランド・ズロチ 9,101	千ポーランド・ズロチ 72,832 ()

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	7
(保管費用)	() 7
(その他)	() 1
合 計	7

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2015年7月16日から2016年1月15日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
Mexican Bonos (メキシコ) 7.25% 2016/12/15	5,015,430	Mexican Bonos (メキシコ) 8% 2015/12/17	6,203,386
Colombian TES (コロンビア) 7.25% 2016/6/15	3,815,096	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2016/4/1	2,787,222
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2018/7/1	1,873,693	Poland Government Bond (ポーランド) 5.25% 2017/10/25	2,306,274
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 10% 2018/11/16	1,433,143	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 7.25% 2016/2/8	1,871,085
Colombian TES (コロンビア) 5% 2018/11/21	1,174,094	Colombia Government International Bond (コロンビア) 12% 2015/10/22	1,828,861
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 13.5% 2016/9/15	915,446	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 13.5% 2015/9/15	1,527,423
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.25% 2017/9/15	880,337	India Government Bond (インド) 7.28% 2019/6/3	1,447,189
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2019/1/1	786,371	MALAYSIAN GOVERNMENT (マレーシア) 3.172% 2016/7/15	1,237,569
INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK (国際機関) 7.2% 2018/1/22	577,077	Turkey Government Bond (トルコ) 10.7% 2016/2/24	1,213,829
MALAYSIAN GOVERNMENT (マレーシア) 4.24% 2018/2/7	575,258	Turkey Government Bond (トルコ) 8.8% 2023/9/27	1,206,312

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国(外貨建) 公社債(通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期		組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		評 価 額				5年以上	2年以上	2年未満
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額					
トルコ	千トルコ・リラ 137,000	千トルコ・リラ 134,207	千円 5,244,831	% 10.5	% —	% 2.4	% 3.0	% 5.1
メキシコ	千メキシコ・ペソ 750,000	千メキシコ・ペソ 796,863	5,267,270	10.5	—	1.1	0.3	9.1
コロンビア	千コロンビア・ペソ 150,000,000	千コロンビア・ペソ 146,394,940	5,358,054	10.7	—	1.9	2.1	6.8
インド	千インド・ルピー 3,200,000	千インド・ルピー 3,181,376	5,631,035	11.2	—	—	11.2	—
インドネシア	千インドネシア・ルピア 671,220,000	千インドネシア・ルピア 649,612,704	5,586,669	11.1	—	—	5.0	6.1
ブラジル	千ブラジル・レアル 226,000	千ブラジル・レアル 188,360	5,562,286	11.1	—	—	5.0	6.1
マレーシア	千マレーシア・リンギット 202,000	千マレーシア・リンギット 204,311	5,516,415	11.0	—	—	1.6	9.4
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 645,000	千南アフリカ・ランド 665,550	4,778,650	9.5	—	1.1	—	8.5
ポーランド	千ポーランド・ズロチ 170,000	千ポーランド・ズロチ 181,758	5,309,165	10.6	—	—	0.5	10.1
合計	—	—	48,254,378	96.2	—	6.4	28.7	61.2

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額		
					千円	千円	
トルコ	Turkey Government Bond	国債証券	9.0000	千トルコ・リラ 10,000	千トルコ・リラ 9,832	384,254	2017/03/08
	Turkey Government Bond	国債証券	10.7000	30,000	30,079	1,175,506	2016/02/24
	Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	39,000	38,629	1,509,640	2019/03/27
	Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	19,000	18,553	725,070	2024/03/20
	Turkey Government Bond	国債証券	8.2000	8,000	7,854	306,965	2016/11/16
	Turkey Government Bond	国債証券	8.0000	14,000	11,760	459,580	2025/03/12
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	13.6250	17,000	17,497	683,812	2017/05/09
通貨小計	銘柄数 金 額	7銘柄		137,000	134,207	5,244,831	
メキシコ	Mexican Bonos	国債証券	7.2500	千メキシコ・ペソ 670,000	千メキシコ・ペソ 693,148	4,581,711	2016/12/15
	Mexican Bonos	国債証券	10.0000	60,000	81,634	539,602	2036/11/20
	Mexican Bonos	国債証券	8.5000	20,000	22,081	145,956	2018/12/13
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄		750,000	796,863	5,267,270	
コロンビア	Colombia Government International Bond	国債証券	9.8500	千コロンビア・ペソ 10,000,000	千コロンビア・ペソ 11,420,500	417,990	2027/06/28
	Colombian TES	国債証券	7.2500	92,000,000	92,548,320	3,387,268	2016/06/15
	Colombian TES	国債証券	5.0000	30,000,000	28,373,700	1,038,477	2018/11/21
	Colombian TES	国債証券	6.0000	18,000,000	14,052,420	514,318	2028/04/28
通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄		150,000,000	146,394,940	5,358,054	
インド	India Government Bond	国債証券	7.2800	千インド・ルピー 3,200,000	千インド・ルピー 3,181,376	5,631,035	2019/06/03
通貨小計	銘柄数 金 額	1銘柄		3,200,000	3,181,376	5,631,035	
インドネシア	Indonesia Treasury Bond	国債証券	5.2500	千インドネシア・ルピア 70,000,000	千インドネシア・ルピア 65,450,700	562,876	2018/05/15
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	6.7500	50,000,000	46,958,000	403,838	2017/12/04
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	7.2000	100,220,000	98,418,044	846,395	2016/06/08
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	7.2500	44,000,000	43,893,080	377,480	2016/02/08
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	7.2500	48,000,000	45,774,720	393,662	2017/08/22
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	10.0000	160,000,000	159,651,200	1,373,000	2018/11/16
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	7.2500	99,000,000	94,558,860	813,206	2017/07/17
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	7.2000	70,000,000	66,167,500	569,040	2018/01/22
	AFRICAN DEVELOPMENT BK.	特殊債券	7.0000	30,000,000	28,740,600	247,169	2017/03/06
	通貨小計	銘柄数 金 額	9銘柄		671,220,000	649,612,704	5,586,669
ブラジル	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000	千ブラジル・レアル 8,000	千ブラジル・レアル 22,270	657,637	2016/08/15
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	29,000	27,212	803,574	2016/07/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	47,000	40,963	1,209,660	2017/01/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	17,000	13,722	405,237	2017/07/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	83,000	57,345	1,693,413	2018/07/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	42,000	26,845	792,761	2019/01/01
通貨小計	銘柄数 金 額	6銘柄		226,000	188,360	5,562,286	

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
マレーシア	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	4.2620	千マレーシア・リンギット 119,000	千マレーシア・リンギット 120,520	千円 3,254,062	2016/09/15
	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	4.2400	20,000	20,445	552,036	2018/02/07
	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.5800	9,000	9,094	245,551	2018/09/28
	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.1720	30,000	30,060	811,620	2016/07/15
	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.3940	24,000	24,190	653,145	2017/03/15
通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄		202,000	204,311	5,516,415	
南アフリカ	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.2500	千南アフリカ・ランド 100,000	千南アフリカ・ランド 99,722	716,003	2017/09/15
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	10.5000	70,000	74,084	531,926	2026/12/21
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	13.5000	475,000	491,743	3,530,720	2016/09/15
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄		645,000	665,550	4,778,650	
ポーランド	Poland Government Bond	国債証券	5.2500	千ポーランド・ズロチ 162,000	千ポーランド・ズロチ 172,698	5,044,522	2017/10/25
	Poland Government Bond	国債証券	5.5000	8,000	9,060	264,642	2019/10/25
通貨小計	銘柄数 金 額	2銘柄		170,000	181,758	5,309,165	
合 計	銘柄数 金 額	40銘柄				48,254,378	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年1月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	48,254,378	95.8
コール・ローン等、その他	2,136,283	4.2
投資信託財産総額	50,390,662	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=118.16円、1トルコ・リラ=39.08円、1メキシコ・ペソ=6.61円、100コロンビア・ペソ=3.66円、1インド・ルピー=1.77円、100インドネシア・ルピア=0.86円、1ブラジル・リアル=29.53円、1マレーシア・リンギット=27.00円、1南アフリカ・ランド=7.18円、1ポーランド・ズロチ=29.21円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(49,346,598千円)の投資信託財産総額(50,390,662千円)に対する比率は、97.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年1月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	50,986,438,363円
コール・ローン等	822,317,034
公社債(評価額)	48,254,378,918
未収入金	909,173,724
未収利息	840,903,289
前払費用	159,665,398
(B) 負債	830,726,500
未払金	598,426,500
未払解約金	232,300,000
(C) 純資産総額(A-B)	50,155,711,863
元本	42,423,559,969
次期繰越損益金	7,732,151,894
(D) 受益権総口数	42,423,559,969口
1万円当り基準価額(C/D)	11,823円

*期首における元本額は55,357,107,307円、当期中における追加設定元本額は52,765,420円、同解約元本額は12,986,312,758円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ成長国セレクト債券ファンド(毎月決算型)38,535,162,221円、ダイワ成長国セレクト債券ファンド(年1回決算型)345,305,377円、ダイワ・エマージング高金利債券ファンド(毎月分配型)3,534,482,595円、ダイワ・エマージング高金利債券ファンド(年1回決算型)8,609,776円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は11,823円です。

■損益の状況

当期 自2015年7月16日 至2016年1月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	2, 208, 840, 855円
受取利息	2, 208, 840, 855
(B) 有価証券売買損益	△ 12, 484, 273, 886
売買益	213, 859, 983
売買損	△ 12, 698, 133, 869
(C) その他費用	△ 35, 030, 494
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 10, 310, 463, 525
(E) 前期繰越損益金	21, 712, 488, 081
(F) 解約差損益金	△ 3, 686, 397, 242
(G) 追加信託差損益金	16, 524, 580
(H) 合計 (D + E + F + G)	7, 732, 151, 894
次期繰越損益金 (H)	7, 732, 151, 894

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。